

令和4年度第2回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会開催結果（概要版）

- 1 日 時： 令和5年3月1日（水） 15：00～16：30
- 2 開催形式： WEB開催（Web会議アプリ Zoomによる開催）
- 3 出席委員： （◎：会長、○：副会長）
 - ◎福島県立医科大学医学部小児科学講座 教授 細矢 光亮
 - 福島県立医科大学医学部呼吸器内科講座 講師 斎藤 純平
 - 福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 講師／医局長 花見 由華
 - 公益財団法人 星総合病院 病院長補佐／小児科部長 佐久間 弘子
 - 一般社団法人 福島県医師会 会長 佐藤 武寿
 - 公益社団法人 福島県歯科医師会 専務理事 五十嵐 稔
 - 一般社団法人 福島県薬剤師会 会長 長谷川 祐一
 - 公益財団法人 福島県看護協会 会長 今野 静
 - 公益社団法人 福島県学校保健会 会長 佐藤 武寿
 - 公益社団法人 福島県栄養士会 常務理事 小河原 貴之
 - 福島県保健所長会（県北保健所） 会長（所長） 加藤 清司
 - 公益財団法人 福島県学校給食会 会長 佐藤 俊市郎
 - アレルギーっ子 交流会 もぐのび 代表 緑川 琴江

4 議事概要

(1) 令和4年度福島県アレルギー疾患対策事業実績について

ア 福島県アレルギー疾患医療連絡協議会開催について

書面開催では意見を出しにくいいため次年度以降は、Webまたは集合形式での開催することとなった。

イ アレルギー疾患医療に関する基礎調査について

アトピー性皮膚炎の治療における「JAK阻害薬治療」が可能な医療機関が複数あるが、実際に皮膚科で処方するためには様々な制限がある。「JAK阻害薬治療」が塗り薬としてか、生物学的製剤としての話かで対応が変わるため、次回資料の改訂の際に、項目について再度検討する。

また、アレルギー疾患医療に関する基礎調査については、概ね3年ごとに照会予定。なお、治療内容などについては、住民にとっては分かりにくいことや、医療機関に詳細を確認する必要があるものもあるため、住民から問い合わせがあった場合は、医療機関に再度照会を行う等の対応する。

ウ 令和4年度福島県アレルギー疾患市民講座

動画配信形式の開催は便利で効果的であり、チラシのPDFデータも会員等に送付し、病院の待合室などに掲示してアクセスを促進している。15分程度の動画は若者にとって長く、5～6分程度の短い動画の方が視聴数が伸びる可能性があるため、令和5年度の市民

講座については、ショートバージョンを作成する等の対応を検討する。

エ その他

福島県アレルギー疾患医療拠点病院である福島県立医科大学附属病院の専門機能を強化し、センター化を図る必要性について意見が出され、県では意見として承り、県立医科大学内でも、今後の役割等について検討していく必要性が共有された。

(2) 令和5年度アレルギー疾患対策事業計画（案）について

ア 福島県アレルギー疾患医療連絡協議会開催について

令和6年度の実施事業に関して8月の協議会で意見を集約する。

イ アレルギー疾患対策普及啓発事業について

単発ではなく、ミニレクチャー形式でシリーズ化して普及啓発を実施する。全県的に普及啓発を行うために、ラジオ、新聞、広報誌など他の媒体も活用して広報を計画的に行う。

(3) 意見交換

ア 関係課からの情報提供

健康教育課：令和4年度に食物アレルギーに関する研修会を開催。

各市町村で学校給食における食物アレルギーの対応マニュアルを作成している。

子育て支援課：国からの研修案内を市町村や保健所に共有。

保育士キャリアアップ研修でアレルギー対応研修を実施。

イ 研修について

福島県の地域の実情に合わせたアレルギー教育が必要であり、保護者が専門医と繋がる指導や研修の実施の要望があった。

ウ 医療機関の整備について

アレルギー疾患医療拠点病院の在り方は非常に重要な課題であり、アレルギー疾患対策は、時間をかけて実績を積み上げていくことが重要。